

事業 032	事業名	斎場管理費				担当部署	部名	市民環境部
	事業名						課名	環境課 斎場施設
事業期間		開始年度	昭和 41 年度	終了年度	-	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 4 部 快適で安心して暮らせるまち					款	衛生費
	政策名(章)	第 3 章 快適で住みよいまちづくり				項	保険衛生費	
	施策名(節)	第 2 節 住みよい生活環境の推進				目	斎場費	
	実施計画掲載	頁		個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	誰を・何を	射水市民及び牧野地区(高岡市)住民					
	意図	設置目的	火葬業務(射水市斎場条例)					
事業内容	手段	主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・火葬業務については、業者に委託 ・施設の維持管理等については、市において実施 					

補助金	類型区分						
	補助内容	補助区分	内容(基準単価・補助率等)			上限額	

施設管理運営	施設名	斎場施設			管理形態	市直営	
	構造・階数	鉄筋コンクリート1階建て			指定管理者名		
	建築年度	昭和 41 年度	改修年度	年度	指定管理期間	年度 ~ 年度	
	耐震の有無	無	延床面積	954.00 m ²	類似施設状況	県施設	市施設
	設備・規模	火葬炉 5 基、再燃焼炉 2 基					

施設等整備	総事業費	財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	整備内容						

その他	特記事項等	斎場施設は、昭和 41 年に建設され、築 40 年以上経過しており、建物及び火葬設備は老朽化が進んでいる。
-----	-------	---

事業 032	事業 事務 事業 名	斎場管理費	担当 部署	部名	市民環境部
				課名	環境課 斎場施設
			電話	82 - 8475	

指標名	単位	H21年度 実績	H22年度			H23年度 目標	H 年度	
			目標	実績	達成率		最終目標	達成率
成果指標 利用者数 設定できる場合 (年度別火葬件数)	人	1,016	-	1,095		-	-	
活動指標 稼働日数	日	301	304	304	100.0	300		

事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
事業 コスト	直接事業費	33,786 千円	36,072 千円	6.8	37,115 千円
	人件費	16,320 千円	14,280 千円	12.5	13,260 千円
	退職手当引当金相当額	2,400 千円	2,100 千円	12.5	1,950 千円
	減価償却費相当額	6,049 千円	6,049 千円	0.0	6,049 千円
	事業コスト計	58,555 千円	58,501 千円	0.1	58,374 千円
	財源内訳				
国県支出金	千円	千円		千円	
施設使用料	千円	千円		千円	
その他	5,953 千円	6,582 千円	10.6	6,582 千円	
一般財源	52,602 千円	51,919 千円	1.3	51,792 千円	
当該事務従事職員数	2.40 人	2.10 人	12.5	1.95 人	
利用者1人当たりコスト	57.63 千円	53.43 千円	7.3		
うち一般財源ベース分	51.77 千円	47.41 千円	8.4		

評価項目	点数	説明
必要性	4	墓地、埋葬等に関する法律等により
有効性	4	同上
達成度	4	火葬件数の増加が見られる。H19(1,023人)H20(1,037人)H21(1,016人)H22(1,095人)
効率性	4	老朽化に伴い維持管理費の増加

評価結果 (1次)	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
・竣工後40年以上経過しており施設更新が必要。				

事業 033	事務名	自治会振興助成金				担当部署	部名	市民環境部
	事業名	(斎場管理費)					課名	環境課 斎場
事業期間		開始年度	昭和 41 年度	終了年度	-	電話	82 - 8475	
総合計画	施策の大綱	第 4 部 快適で安心して暮らせるまち				予算科目	会計	一般会計
	政策名(章)	第 3 章 快適で住みよいまちづくり					款	衛生費
	施策名(節)	第 2 節 住みよい生活環境の推進					項	保険衛生費
	実施計画掲載	頁 個別計画					目	斎場費
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	交付先	周辺自治会				
	意図	補助目的	施設建設時の覚書等に基づく振興策として自治会運営事業費の助成金				
事業内容	手段	主な活動	毎年1回年末に補助金交付 公有地の除草、用排水路の清掃等				

補助金	類型区分	団体運営費補助		事業費補助		施設等整備費補助		政策的補助		
		格差是正補助		利子補給		その他()				
	補助内容	補助区分	内容(基準単価・補助率等)					上限額		
		定額補助	平均割	165,000円				千円		
定率補助		敷地面積割	37,000円				上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載			
その他	世帯割	155,000円								

施設管理運営	施設名				管理形態			
					指定管理者名			
	構造・階数				指定管理期間			
		建築年度	改修年度			類似施設状況		
	耐震の有無	延床面積			民間施設状況			
設備・規模								

施設等整備	総事業費	財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成21年度	平成22年度	平成23年度			
	整備内容						

その他	特記事項等	<p>墓地、埋葬法等に基づき設置、運営している斎場施設は地元町内の協力がなければ運営できない施設である。 自治会振興助成金は、施設設置時に交わした覚書に基づき助成しているものですが、町内毎の不公平感を解消するための算出基礎に基づき助成している。</p> <p>算出基礎数値 165,000円(均等割)、37,000円(施設敷地面積割)、100,000円(世帯割)、55,000円(500m内世帯数)</p>
-----	-------	---

事業 033	事業 業務 名	自治会振興助成金	担当 部署	部名	市民環境部
		(斎場管理費)		課名	環境課 斎場
			電話	82 - 8475	

成果 指標	指標名	単位	H21年度 実績	H22年度			H23年度 目標		
				目標	実績	達成率			
	利用者数 設定できる場合 ()	人							
	地元町内世帯数	世帯	421	421	421	100.0	421		
	地元町内500m内世帯数	世帯	136	136	136	100.0	136		
	施設敷地面積 表面特記事項等に詳細記載	坪	1,480	1,480	1,480	100.0	1,480		

事業費・ 人件費	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業 コスト	直接事業費		357 千円	357 千円	0.0
(補助金交付件数)		(3 件)	(3 件)	(3 件)	0.0	(3 件)
人件費			340 千円	340 千円	0.0	272 千円
退職手当引当金相当額			50 千円	50 千円	0.0	40 千円
事業コスト計			747 千円	747 千円	0.0	669 千円
財源 内訳	国県支出金		千円	千円		千円
	その他		千円	千円		千円
	一般財源		747 千円	747 千円	0.0	669 千円
	当該事務従事職員数		0.05 人	0.05 人	0.0	0.04 人
	利用者1人当たりコスト		-	-		
	うち一般財源ベース分		-	-		

評価項目	点数	説明
妥当性	4	建設当初からの覚書,申合せ等に基づくもの
有効性	4	周辺自治会との円滑な運営(地域振興策)
効率性	4	過去の見直し(平成3年度、平成12年度)

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
・周辺自治会との円滑な運営等の確保のため今後も必要と考える。				

事業 129	事業名 緑化推進費	担当部署	部名 産業経済部
		課名 農林水産課	電話 82 - 1959
事業期間	開始年度 平成 17 年度	終了年度 -	予算科目
総合計画	施策の大綱	第 4 部 快適で安心して暮らせるまち	
	政策名(章)	第 3 章 快適で住みよいまちづくり	
	施策名(節)	第 2 節 住みよい生活環境の推進	
	実施計画掲載	有	28 頁 個別計画
根拠法令・要綱等			

事業目的	対象 誰を・何を	全市民
	意図 どのような状態に	市街地における憩い空間と道路等へ連続性を生かした緑化空間を整備。
事業内容	手段 どのような方法で	・プランター及び花壇の植栽管理を射水市シルバー人材センターへ委託。 ・公園や公民館の花壇の土砂や肥料を購入。

補助金	類型区分				
	補助内容	補助区分	内容(基準単価・補助率等)		上限額

施設管理運営	施設名		管理形態		
	構造・階数		指定管理者名		
	建築年度		指定管理期間		
	耐震の有無	改修年度		類似施設状況	
		延床面積		民間施設状況	
設備・規模					

施設等整備	総事業費	財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成21年度	平成22年度	平成23年度			
	整備内容						

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 129	事業 事業名	緑化推進費	担当 部署	部名 産業経済部
			課名 農林水産課	
			電話 82 - 1959	

指標名	単位	H21年度 実績	H22年度			H23年度 目標	H 25 年度	
			目標	実績	達成率		最終目標	達成率
成果指標	利用者数 設定できる場合 ()	人						
	花壇数	花壇	193	191	191	100.0	201	203 100.0
活動指標	プランター及び花壇の植栽管理箇所数	箇所	4	4	4	100.0	4	/
								/

事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
事業 コスト	直接事業費	842 千円	783 千円	7.1	912 千円
	人件費	884 千円	884 千円	0.0	816 千円
	退職手当引当金相当額	130 千円	130 千円	0.0	120 千円
	事業コスト計	1,856 千円	1,797 千円	3.2	1,848 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	1,856 千円	1,797 千円	3.2	1,848 千円
	当該事務従事職員数	0.13 人	0.13 人	0.0	0.12 人
	利用者1人当たりコスト	-	-		/
	うち一般財源ベース分	-	-		/

評価項目	点数	説明
必要性	3	花壇の維持管理のために重要である
有効性	4	花壇の土づくりに有効である。
達成度	4	花壇用肥料を全ての花壇で補給することができた。
効率性	3	花と緑の銀行射水支店 頭取・グリーンキーパーが中心となって効率的に肥料配布を実施している。

評価結果 (1次)	A	現行(計画)どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
市民の憩いの場となる公園や公民館の花壇数が市民のボランティア活動により増加しており、今後も実施していく必要がある。				

事業 130	事業 業務名	ミズアオイ保護対策活動補助金 (緑化推進費)				担当 部署	部名	産業経済部
							課名	農林水産課
		開始年度	平成 17 年度	終了年度	-	電話	82 - 1959	
総合 計画	事業 期間					予算 科目	会計	一般会計
	施策の大綱	第 4 部 快適で安心して暮らせるまち					款	農林水産業費
	政策名(章)	第 3 章 快適で住みよいまちづくり					項	林業費
	施策名(節)	第 2 節 住みよい生活環境の推進					目	緑化推進費
実施計画掲載		有	28 頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		射水市補助金等交付規則						

事業 目的	対象 交付先	ミズアオイ保護対策委員会					
	意図 補助目的	環境省の絶滅危惧種に指定されている「ミズアオイ」の保護活動のため。					
事業 内容	手段 主な活動	・「ミズアオイ」保護のため、水温水量調整及び雑草除去作業、株刈り作業を実施。					

補助 金	類 型 区 分	団体運営費補助		事業費補助		施設等整備費補助		政策的補助	
		格差是正補助		利子補給		その他()			
	補 助 内 容	補助区分		内容(基準単価・補助率等)				上限額	
		定額補助		ミズアオイ保護対策活動補助金 50千円				50 千円	
定率補助									
その他						上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載			

施設 管理 運営	施 設 名			管 理 形 態			
				指定管理者名			
	構 造 ・ 階 数			指定管理期間			
		建 築 年 度	改 修 年 度	類似施設状況			
	耐 震 の 有 無	延 床 面 積		民間施設状況			
設 備 ・ 規 模							

施設 等 整 備	総 事 業 費	財源内訳 (千円)		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整 備 内 容	平成21年度		平成22年度			平成23年度	

そ の 他	特 記 事 項 等							
-------------	-----------------------	--	--	--	--	--	--	--

事業 130	事業 事業名	ミズアオイ保護対策活動補助金	担当 部署	部名	産業経済部
		(緑化推進費)		課名	農林水産課
			電話	82 - 1959	

成果 指標	指標名	単位	H21年度 実績	H22年度			H23年度 目標		
				目標	実績	達成率			
	利用者数 設定できる場合 ()	人							
	「ミズアオイ」保護箇所数	箇所	1	1	1	100.0	1		
	水温・水量調整・雑草除去	回	4	4	4	100.0	5		

事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
事業 コスト	直接事業費	50 千円	50 千円	0.0	50 千円
	(補助金交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
	人件費	272 千円	272 千円	0.0	272 千円
	退職手当引当金相当額	40 千円	40 千円	0.0	40 千円
	事業コスト計	362 千円	362 千円	0.0	362 千円
財源 内訳	国県支出金	千円	千円		千円
	その他	千円	千円		千円
	一般財源	362 千円	362 千円	0.0	362 千円
当該事務従事職員数		0.04 人	0.04 人	0.0	0.04 人
利用者1人当たりコスト		-	-		
うち一般財源ベース分		-	-		

評価項目	点数	説明
妥当性	4	絶滅危惧植物を護る団体に活動費を交付することは、妥当である。
有効性	4	希少植物の保護に有効である。
効率性	2	作業人件費の効率について、今後検討の位置がある。

評価結果 (1次)	B 補助率及び上限額の見直しが必要	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)		評価委員会のコメント	
絶滅危惧種「ミズアオイ」保護のため今後も補助が必要である。			

事業 131	事業名 花と緑の銀行射水支店補助金 (緑化推進費)	担当部署	部名 産業経済部
		課名 農林水産課	電話 82 - 1959
事業期間	開始年度 平成 17 年度	終了年度 -	予算科目 会計 一般会計
総合計画	施策の大綱	第 4 部 快適で安心して暮らせるまち	
	政策名(章)	第 3 章 快適で住みよいまちづくり	
	施策名(節)	第 2 節 住みよい生活環境の推進	
	実施計画掲載	有	28 頁 個別計画
根拠法令・要綱等			射水市補助金等交付規則

事業目的	対象 交付先	花と緑の銀行射水支店	
	意図 補助目的	花と緑の指導員の活動を推進し地域に花と緑の普及を支援する。	
事業内容	手段 主な活動	・地域における花づくり活動の推進と人材の育成。 ・地域・学校等での技術指導。	

補助金	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	
		格差是正補助	利子補給	その他()		
	補助内容	補助区分	内容(基準単価・補助率等)			上限額
		定額補助	地域緑化推進対策費補助金 2,520千円・花苗・球根、緑化木購入補助金 5,553千円・花壇コンクール開催補助金 450千円・花壇設置補助金 200千円・菊花展開催、薔薇園管理補助金 500千円			9,223 千円
定率補助 その他					上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載	

施設管理運営	施設名			管理形態		
	構造・階数			指定管理者名		
	建築年度	改修年度			類似施設状況	
	耐震の有無	延床面積			民間施設状況	
	設備・規模					

施設等整備	総事業費	財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成21年度	平成22年度		平成23年度		
	整備内容						

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 131	事業 事業名	花と緑の銀行射水支店補助金	担当 部署	部名	産業経済部
		(緑化推進費)		課名	農林水産課
			電話	82 - 1959	

成果 指標	指標名	単位	H21年度 実績	H22年度			H23年度 目標		
				目標	実績	達成率			
	利用者数 設定できる場合 (頭取・グリーンキーパー数)	人	117	117	116	99.1	117		
	花壇数	箇所	193	191	191	100.0	201		
	指導回数	回	7	8	8	100.0	10		

事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
事業 コスト	直接事業費	9,373 千円	9,223 千円	1.6	9,243 千円
	(補助金交付件数)	(4 件)	(1 件)	75.0	(1 件)
	人件費	2,516 千円	2,516 千円	0.0	2,448 千円
	退職手当引当金相当額	370 千円	370 千円	0.0	360 千円
	事業コスト計	12,259 千円	12,109 千円	1.2	12,051 千円
財源 内訳	国県支出金	千円	千円		千円
	その他	3,023 千円	3,089 千円	2.2	3,289 千円
	一般財源	9,236 千円	9,020 千円	2.3	8,762 千円
	当該事務従事職員数	0.37 人	0.37 人	0.0	0.36 人
利用者1人当たりコスト		104.78 千円	104.39 千円	0.4	
うち一般財源ベース分		78.94 千円	77.76 千円	1.5	

評価項目	点数	説明
妥当性	4	花壇等の維持管理をすることは、重要である。
有効性	4	地域緑化の向上は、防犯と環境に役立つ
効率性	4	「花と緑の銀行」と「市」で効率的に行っている。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)		
花と緑の銀行活動による、緑化向上を図るため本事業は重要であり、今後も計画的に実施する。		

評価結果 (2次)	
評価委員会のコメント	

事業 139	事業名	公園維持管理費				担当部署	部名	都市整備部
	事業名						課名	都市計画課
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	-	電話	52 - 7390	
総合計画	施策の大綱	第 4 部 快適で安心して暮らせるまち				予算科目	会計	一般会計
	政策名(章)	第 3 章 快適で住みよいまちづくり					款	土木費
	施策名(節)	第 2 節 住みよい生活環境の推進					項	都市計画費
	実施計画掲載	無	頁	個別計画			目	公園費
根拠法令・要綱等		都市公園法、都市計画法、射水市都市公園条例						

事業目的	対象	誰を・何を	公園利用者				
	意図	設置目的	市が管理する公園及び緑地において、施設の安全性や維持管理、並びに災害時における防災機能の向上を図ると共に、生活環境に対する住民意識の高揚を図る。				
事業内容	手段	主な活動	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な公園の巡回及び点検 樹木剪定、草刈り、トイレ清掃等による良好な公園の維持管理 遊具や公園施設等の新設増設及び修繕による市民ニーズに対応した公園整備 				

補助金	類型区分					
	補助内容	補助区分	内容(基準単価・補助率等)			上限額

施設管理運営	施設名	公園275箇所			管理形態		
	構造・階数				指定管理者名		
	建築年度	年度	改修年度	年度	指定管理期間	年度 ~ 年度	
	耐震の有無		延床面積	m ²	類似施設状況	県施設	市施設
	設備・規模	街区公園、近隣公園、地区公園、運動公園等					

施設等整備	総事業費	財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	整備内容						

その他	特記事項等						
-----	-------	--	--	--	--	--	--

事業 139	事業 事業名	公園維持管理費	担当 部署	部名 都市整備部
			課名 都市計画課	電話 52-7390

指標名	単位	H21年度 実績	H22年度			H23年度 目標	H 29 年度	
			目標	実績	達成率		最終目標	達成率
成果指標	利用者数 設定できる場合 ()	人						
	定期的な公園施設の巡回及び点検	箇所	266	273	273	100.0	276	276 100.0
	市民協働事業による公園維持管理	箇所	185	200	187	93.5	200	200 100.0
活動指標	計画対象公園数	箇所	266	273	273	100.0	276	

事業費 事業コスト	事業費	平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	直接事業費	98,870 千円	105,403 千円	6.6	103,657 千円
事業コスト	人件費	13,600 千円	13,600 千円	0.0	13,600 千円
	退職手当引当金相当額	2,000 千円	2,000 千円	0.0	2,000 千円
	減価償却費相当額	6,090 千円	6,090 千円	0.0	6,090 千円
	事業コスト計	120,560 千円	127,093 千円	5.4	125,347 千円
	財源内訳				
国県支出金	千円	千円		3,500 千円	
施設使用料	千円	千円		千円	
その他	3,659 千円	3,668 千円	0.2	3,268 千円	
一般財源	116,901 千円	123,425 千円	5.6	118,579 千円	
当該事務従事職員数	2.00 人	2.00 人	0.0	2.00 人	
利用者1人当たりコスト	-	-			
うち一般財源ベース分	-	-			

評価項目	点数	説明
必要性	4	広く住民のための憩いの場である公園の安全で快適な環境の確保や、市街地の防災機能の向上など誰もが安全で安心して利用できる公園の維持管理は、極めて重要で必要不可欠なことである。
有効性	3	安全で快適な公園環境を確保することができる。
達成度	2	日常の巡回及び点検等によって安全で快適な公園環境が確保されることから、目標達成のための効果は上がっている。
効率性	3	業者等への委託及び市民協働事業による地域振興会の方々等の協力も得ながら、有効的かつ効率的に管理されている。

評価結果 (1次)	B 管理運営の改善が必要	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)		評価委員会のコメント	
少子高齢化等による社会情勢の変化に伴い、多様化するニーズに対応すると共に、幅広い年齢層の利用者の交流の場及び憩いの場として、安全性の確保と快適な環境、並びに防災機能としても今後ともより一層向上させていくために、市民協働事業の推進や指定管理者制度なども視野に入れて検討していきたい。			